



<定点把握感染症>

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

疾患名	全国	山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県) 第1～26週
	第25週	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(46)			(10)			(10)			(4)			(9)			(13)			
インフルエンザ	977 0.20	4 0.09		▼	1 0.10		▼							3 0.33		▼				12752
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(6)			(7)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	925 0.29	21 0.70	7 0.23	▼	4 0.67	1 0.17	▼				1 0.33	△	15 2.50	4 0.67	▼	2 0.25	1 0.13	▼	248	
咽頭結膜熱	2151 0.68	27 0.90	28 0.93	△	6 1.00	8 1.33	▲	10 1.43	6 0.86	▼	2 0.67	2 0.67		8 1.33	11 1.83	△	1 0.13	1 0.13	356	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8161 2.57	123 4.10	116 3.87	▼	26 ◎4.33	17 2.83	▼	44 6.29	34 4.86	▼	5 1.67	9 3.00	△	31 ◎5.17	43 ◎7.17	△	17 2.13	13 1.63	▼	3140
感染性胃腸炎	17113 5.40	190 6.33	140 4.67	▼	64 10.67	40 6.67	▼	19 2.71	26 3.71	△	34 11.33	15 5.00	▼	51 8.50	29 4.83	▼	22 2.75	30 3.75	△	5594
水痘	1162 0.37	6 0.20	4 0.13	▼	2 0.33		▼	3 0.43	1 0.14	▼				1 0.17	1 0.17			2 0.25	△	288
手足口病	16417 5.18	44 1.47	78 2.60	▲	21 3.50	24 4.00	▲	14 2.00	30 4.29	▲	3 1.00	18 ◎6.00	△	3 0.50	3 0.50		3 0.38	3 0.38		351
伝染性紅斑	2938 0.93	31 1.03	35 1.17	▲	8 1.33	9 1.50	▲	21 ◎3.00	23 ◎3.29	▲				1 0.17	3 0.50	△	1 0.13		▼	1105
突発性発しん	1560 0.49	15 0.50	23 0.77	△	1 0.17	6 1.00	△	3 0.43	7 1.00	△	1 0.33		▼	5 0.83	6 1.00	△	5 0.63	4 0.50	▼	421
ヘルパンギーナ	3788 1.19	10 0.33	14 0.47	▲	2 0.33	2 0.33		4 0.57	4 0.57					4 0.67	7 1.17	▲		1 0.13	△	38
流行性耳下腺炎	422 0.13	2 0.07		▼										1 0.17		▼	1 0.13		▼	32
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	7 0.01																			0
流行性角結膜炎	476 0.68	4 0.50	1 0.13	▼													4 2.00	1 0.50	▼	73
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	104 0.22	3 0.30		▼	3 1.50		▼													69
クラミジア肺炎																				0
マイコプラズマ肺炎	66 0.14	3 0.30	2 0.20	▼													3 1.00	2 0.67	▼	46
細菌性髄膜炎	8 0.02																			3
無菌性髄膜炎	16 0.03	1 0.10		▼													1 0.33		▼	7

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<全数把握感染症>

疾患名	報告数	備考
結核	3(山形市1、村山1、最上1)	
デング熱	1(山形市1)	海外渡航歴:あり。
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1(山形市1)	90日以内の海外渡航歴:無し。
破傷風	1(置賜1)	ワクチン接種歴:不明。
百日咳	4(村山3、庄内1)	※内、第25週追加報告1人。ワクチン接種歴:4回4人。
腸管出血性大腸菌感染症	2(山形市2)	※第25週追加報告分2人。型別:O157 VT2 2人。

<通信欄>

※トピックスで、腸管出血性大腸菌感染症について掲載しています。

※警報・注意報の基準値

疾患	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									0
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	2	4	1												7
咽頭結膜熱		4	10	3	3	3	2	1	1	1					28
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			5	6	14	15	20	15	20	8	2	11			116
感染性胃腸炎	1	19	15	22	9	6	8	10	10	8	6	20	2	4	140
水痘			2				1	1							4
手足口病		6	27	25	5	4	3	2		2		3	1		78
伝染性紅斑			4	1	8	8	3	5	3	1		2			35
突発性発しん		9	13	1											23
ヘルパンギーナ		1	7	3	1		1					1			14
流行性耳下腺炎															0

< 令和元年5月 月報 >

2019年6月19日 発行

疾患名		山形県		山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県) 1～5月
		4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	
STD定点	(定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	10	13	3	7	1	2	1		3	2	2	2	66
	定点当り	1.00	1.30	1.00	2.33	1.00	2.00	0.67		1.50	1.00	0.67	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	9	7		3			3		5	3	1	1	43
	定点当り	0.90	0.70		1.00			3.00		2.50	1.50	0.33	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数	1	4		2	1	1						1	10
	定点当り	0.10	0.40		0.67	1.00	1.00						0.33	
淋菌感染症	報告数	2	4	1	2	1					1		1	18
	定点当り	0.20	0.40	0.33	0.67	1.00					0.50		0.33	
基幹定点	(定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	4	4					1	1		2	3	1	24
	定点当り	0.40	0.40					1.00	1.00		1.00	1.00	0.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	17	23	2	5	4	9	2	1		1	9	7	101
	定点当り	1.70	2.30	1.00	2.50	2.00	4.50	2.00	1.00		0.50	3.00	2.33	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													0
	定点当り													

< トピックス >

腸管出血性大腸菌感染症情報

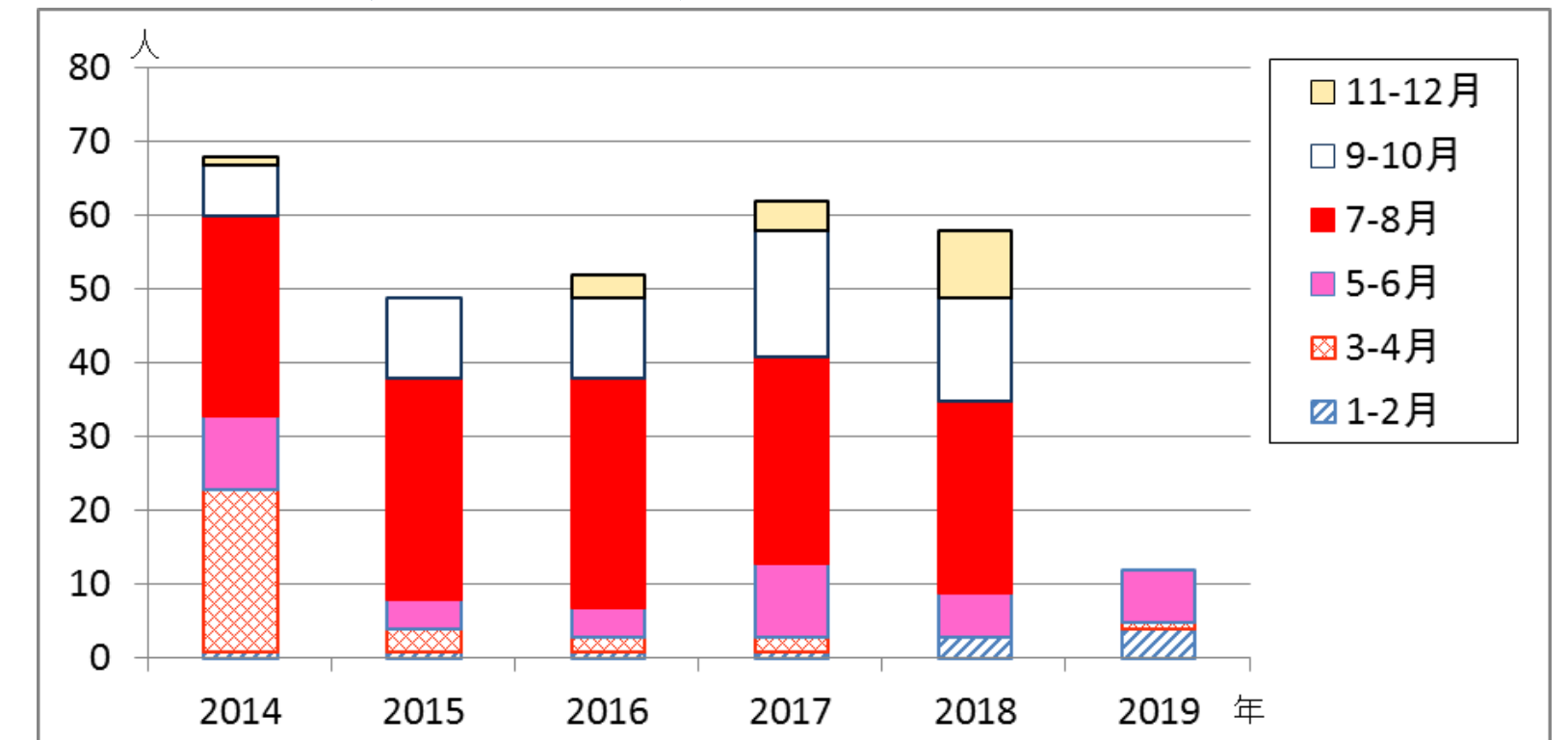
腸管出血性大腸菌感染症の報告が増加傾向にあります。第26週の報告はありませんが、6月に入ってから第24週に3人、第25週に4人と報告が相次いでいます。腸管出血性大腸菌感染症は、例年7月から8月に最も報告数が多くなる傾向がありますので、注意が必要です。

1. 感染者の内訳 (2019年第1週からの合計)

	山形市保健所	村山保健所	置賜保健所	庄内保健所	総計
O26			1		1
O115		1	2		3
O157	3			2	5
OUT※		1		2	3
総計	3	2	3	4	12

※OUT: O-antigen untypeable

2. 年間報告者数(2019年は、第26週までの累計)



腸管出血性大腸菌感染症は夏季に多く発生します。予防のために以下のことに気をつけましょう。

- ① 菌をつけない**
手洗いを徹底し、清潔な布巾や調理器具を使いましょう。
- ② 菌を増やさない**
食品はすぐに冷蔵庫に保存し、常温に放置しないようにしましょう。
- ③ 菌をやっつける**
食品の加熱は中心まで、75℃、1分以上加熱しましょう。

